

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 金 3	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	法と政治 (法学入門) Law and Politics (Introduction to Law)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 担当教員:赤淵 芳宏 /Eメールアドレス: /研究室:環境科学部 /オフィスパワー:月曜日 16:30-17:30			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: 法・法学とはなにか、法はいかなる機能を営むか、法の目的といわれる正義とはなにか、など、法をめぐる主要なテーマについて考えることをねらいとします。</p> <p>授業方法: 教科書に沿って講義を進めることを基本とします。理解度の確認のために授業中発問をすることがあります。このほか、適宜質問表を用いることがあります。</p> <p>授業到達目標: 法および法学に関する基礎的な理解を獲得し、社会人として備えることが期待される法的素養を得ることを目標とします。</p>			
<p>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要)</p> <p>第1回の授業では、この講義の進め方やねらいなどが説明されます。第2回以降の授業は、指定した教科書の内容に沿って進められます。以下に掲げるのはおおよその予定であり、これに沿って進めるよう努めますが、テーマによって複数回にわたり解説を行うこと、あるいは授業回数の制約から解説を省略することがあります。</p> <p>第1回 インTRODクシヨン 第2回 法へのアプローチ 第3回 法の存在形式・法の分類 第4回 法の機能 第5回 日本の法制度と法文化 第6回 法と強制 第7回 法と道徳 第8回 法と正義 第9回 裁判制度 第10回 裁判の機能 第11回 裁判過程と法の適用 第12回 法の解釈 第13回 法的思考 第14回 法の考え方と用い動かし方 第15回 定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書:田中成明『法学入門』(有斐閣、2005年) 参考書:講義の中で適宜紹介します。		
成績評価の方法・基準等	定期試験(100%)によります。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			